

今をときめく まちのあの人に 会いに行く

vol
19

板谷 裕美さん

安芸地区医師会総合介護センター統括所長

地域医療・福祉をサポート 在宅看取りに力を注ぐ

安

芸地区医師会総合介護センターは、平成5年に開設した海田訪問看護ステーションが始まりとなります。当初は看護職のみでしたが、現在では理学療法士、作業療法士・言語聴覚士といったリハビリテーション専門職種も在籍しており、自宅で療養生活を送られている方々のサポートを行っています。また府中町や熊野町に、訪問看護・居宅介護支援・訪問介護の事業を展開しており、地域の医療機関や事業所など多職種多機関と連携しています。

人生の最期をどう過ごすか、自宅での看取りは早い段階から大切に考えていました。「最期は自宅で迎えたい」「施設でお世話になるギリギリまで家で過ごしたい」という希望がある中で、利用者ご本人とご家族が、いかに満足した時間を過ごせるかに焦点を当て手助けをしています。もちろん、自宅で最期を迎えることが最良と考えているわけではありません。身体に不安のある方は、介護施設で過ごすほうが安心な場合もあると思います。

海田町にゆかりのある人を毎月ピックアップし、現在の活動や仕事内容から、海田町への思いまで深掘りしていきます。

11月号では、安芸地区医師会総合介護センター統括所長の板谷 裕美さんに「在宅看取り」や関連したホスピスボランティア、ACP(アドバンスケアプランニング)についてお話を聞かせていただきました。



Profile

いたや・ひろみ／看護師としてキャリアを積み訪問看護ステーションの所長に。現在は安芸地区医師会総合介護センターの統括所長を務め地域医療・福祉に貢献。看取り介護やACP(アドバンスケアプランニング)の普及、ホスピスボランティア養成などに力を入れ、県内外のセミナーや講演会などで活躍する。